

ふくしま青年海外協力隊の会

NEWS 2014 - 2015

今年度、当会が主催/協力/参加した数々の事業、イベントをOVのエッセイから振り返ります。

01 会長挨拶

2014年夏、代々木公園にてデング熱の感染者が出たと、毎日ワイドショーでデング熱について報道されていました。スリランカ隊員は派遣されると「スリランカへようこそ」という事で、新隊員は必ずデング熱にかかっていたいました。私はスリランカ生活1年目でデング熱にかかり任地の下宿でひとりひたすら寝ていたことを思い出しました。デング熱という言葉が日本のニュースで聞く日が来るとは…。本当に世界は狭くなりました。

今年度は世界中で大きなニュースが続きました。ウクライナでの騒乱、スコットランド独立への住民投票、アフリカでのエボラ出血熱の流行、過激派組織イスラム国による混乱等々。世界の問題に関心を持つ事が国際協力の第1歩だと思います。そこで自分のできることは何なのかとよく考え、できることへ1歩踏み出せること、それが大切だと思います。日常多忙な毎日の中、どれだけ立ち止まり、考えることができるのか。本当に意識しなければ難しいこともあります。小さな1歩も歩み続ければ、けっこうな距離を歩いているはずです。

今年度もOV会はひとつひとつの活動を皆さんの協力の下、行うことができました。役員の皆さん、各事業を担当して下さった皆さん、ありがとうございました。心より感謝しております。来年度は青年海外協力隊50周年という記念の年となり、11月17日の記念式典をはじめ、映画「クロスロード」の制作、公開などさまざまなイベントが開催される予定です。ひとつひとつの活動が小さな1歩1歩の歩みとして、これからのOV会活動が無理なく継続していけるよう宜しくお願い致します。

阿部純子 (H3-2 スリランカ)



Contents

- 01 会長挨拶
- 02 結・ゆいフェスタ
- 03 ユース国際協力ミーティング
- 04 地球体験キャラバン
- 05 ふくしま応援ツアー
- 06 JICA エッセイコンテスト
- 07 協力隊ワールドキャンプ
- 08 新年会
- 09 開発教育
- 10 表彰
- 11 出産・祝辞

発行：ふくしま
青年海外協力隊の会
発行日：2015/3/6
編集：金山忍 (H21-4 タイ)
H P : <http://foca.jocv.net>
FOCA の最新情報掲載中！
是非ご覧ください。

02

結・ゆい・フェスタ 2014 9/14 福島市 A・O・Z アオウゼ

福島市国際交流協会主催のこのイベントでは、フィリピンの歌とダンスのステージや世界各国(エジプト・ブラジル・ベトナム等)の料理、またたくさんの民芸品が出展され、どのブースも大盛況でした。私達のブースもちろん大盛況!皆が無料で楽しめるいろいろなゲームと渡邊恭子OVの協力で缶バッジ作りをしました。私達のブースもちろん大盛況!終了時間ぎりぎりまでお客様は絶えませんでした。来年もぜひたくさんの方が来られますように☆

小倉貴美子 (H21-4 マダガスカル)



03

ユース国際協力ミーティング 9/27-28 JICA 二本松



04 地球体験キャラバン 3/1 in 福島テルサ

JICA二本松及び福島県国際課が主催する高校生対象のセミナーで、今年度、定員50名を超える68名の高校生1~3年生が参加しました。3年連続で参加している高校生もいて、セミナーへの期待度の高さが伺われました。「途上国模擬体験」として行った「水運び」は、ポリタンクやバケツに入った約50Lの水を7~8人の班で協力して運ぶものです。水の重さを改めて体感し、多くの途上国の子どもたちが家族の手伝いとして毎日水運びしていることの大変さとその背景を痛感したようで、高校生のアンケートでは、「協力隊体験談」と、この「途上国模擬体験」にとても学びがあったと答えている人の数が多く、来年度も今回の振り返りをもとにさらにバージョンアップして臨みたいものです。

幕田順子 (S60-1 ザンビア)

協力隊は海外での体験談を、国際交流員は日本での経験をお話ししました。参考までに、対象は、福島市の海外研修に参加した中学生達で、スタッフは、国際課は徐さんとビビアンさん、そして、松本OV、菅本OV、私の5名です。「バーンガ」ゲームで異文化を疑似体験。とても盛り上がりました。

八巻亜梨沙 (H21-1 ボツワナ)



05

JICA エッセイコンテスト 10/19 いわき遠野高校



今年度は、いわき市遠野町にある遠野高校の和室を借りての審査会となりました。審査会は地元いわき市のOVを中心に行いましたが、南相馬から清山OVと烏中OV、会津から大山OVと、遠方からもかけつけていただき、総勢11人で実施しました。今回の応募数は、1,152作品で結果8名を推薦することができました。結果は以下のようにになりましたのでご覧ください。

<http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/essay/>

- ☆二本松青年海外協力隊訓練所 所長賞 「一枚の写真」
- ☆佳作5作品 「水問題から考える世界と僕」「心にキャンドルを灯して」「輪を大きくしていく」「つながるといふこと」「私がすると決めたこと」
- ☆ ふくしま青年海外協力隊の会会長賞 「なんとなくを変える」

審査会 参加OVは、以下の通りです。

(鈴木洋二OV・清山OV・烏中OV・津川OV・設楽OV・福田OV・中根OV・大山OV・小杉OV・齋藤智恵子OV)
来年もいわき市での審査会を予定しておりますので、皆さんの出席をお願いいたします。

小杉誠 (S59-2 ネパール)

06 第4回 ふくしま応援ツアー 11/29-30 いわき

2012年3月、震災後の現状を伝えていきたいという思いから始まったツアーで、今年度は、いわき市を中心に行い、全国から45名のOVおよび関係者の方の参加がありました。初日は、大熊町元職員の方と川崎OVのガイドで富岡駅周辺、Jビレッジ、NPO法人ザ・ピープルのコットン畑などの視察、翌日は、ザ・ピープルの吉田恵美子理事長、スパリゾートハワイアンズの震災時の支配人、原発作業現場の様子について川崎OVの計3名から講話でした。アンケートには、「ぜひ来年も参加したい」「今回見たことを絶対に地元に戻って伝えたい」という心強い言葉が多く寄せられ、当日自分が参加できなかったことが悔やまれます。来年度も多くの参加者に福島の実情を見ていただくことができるよう、企画を練っているところです。福島のことを伝えたいという情報がありましたら、ぜひお寄せください。

小熊則子 (H2-3 サモア)



Jビレッジ講義



富岡駅視察



オーガニックコットン畑での収穫

07 協力隊ワールドキャンプ 11/8 プレイベント「わくわくクッキング」

2015年夏、NTCを舞台に中学生から大学生までを対象に1泊2日（予定）のキャンプができるよう準備を進めています。2014年11月8日には、プレイベントとして「わくわくクッキング」を行いました。キャンプでは、竹細工をしたり、任国料理パーティーも企画しています。OVだからこそ、伝えられる経験を若い世代とシェアしていきましょう。キャンプをお手伝いいただける方も随時募集中です。

高橋司（H17-2 メキシコ）



08 新年会 1/17 二本松駅前

二本松駅前の大宗旅館にて新年会が行われました。OV と、にほんまつ地球市民の会さん、ラジオでお馴染みの DJ イタルさんなど、総勢 26 名の出席により、華やかに執り行われました。

09 開発教育 1/18 二本松市

第1部は、ふくしま応援ツアーで好評だった川崎豊OVの講話を聞き、福島県民として原発問題を改めて考える貴重な機会を得ました。川崎OV、本当にありがとうございました。第2部は、意見交換会を行い、次年度に向けてよりよい事業にするためのご意見をお聞きすることができました。影山ともこ（H8-1 ケニア）



10 JICA 二本松設立 20周年 11/5

JICA二本松設立20周年記念式典において100余の個人・団体の表彰が行われ、当会も表彰され感謝状をいただきました。

坂中澄子(H12-1パラオ)



11 出産・祝辞

ご出産、おめでとうございます！！
健やかな成長をお祈りいたします♡

橋本(大和田)ゆかりさん
(H18-2ザンビア)
8/8出産・男の子

佐藤(橋本)千賀子さん
(H14-1パラグアイ)
1/21出産・女の子

永田(林)美里さん
(H10-1ソロモン諸島)
3/27出産・男の子



橋本健介くん